



---

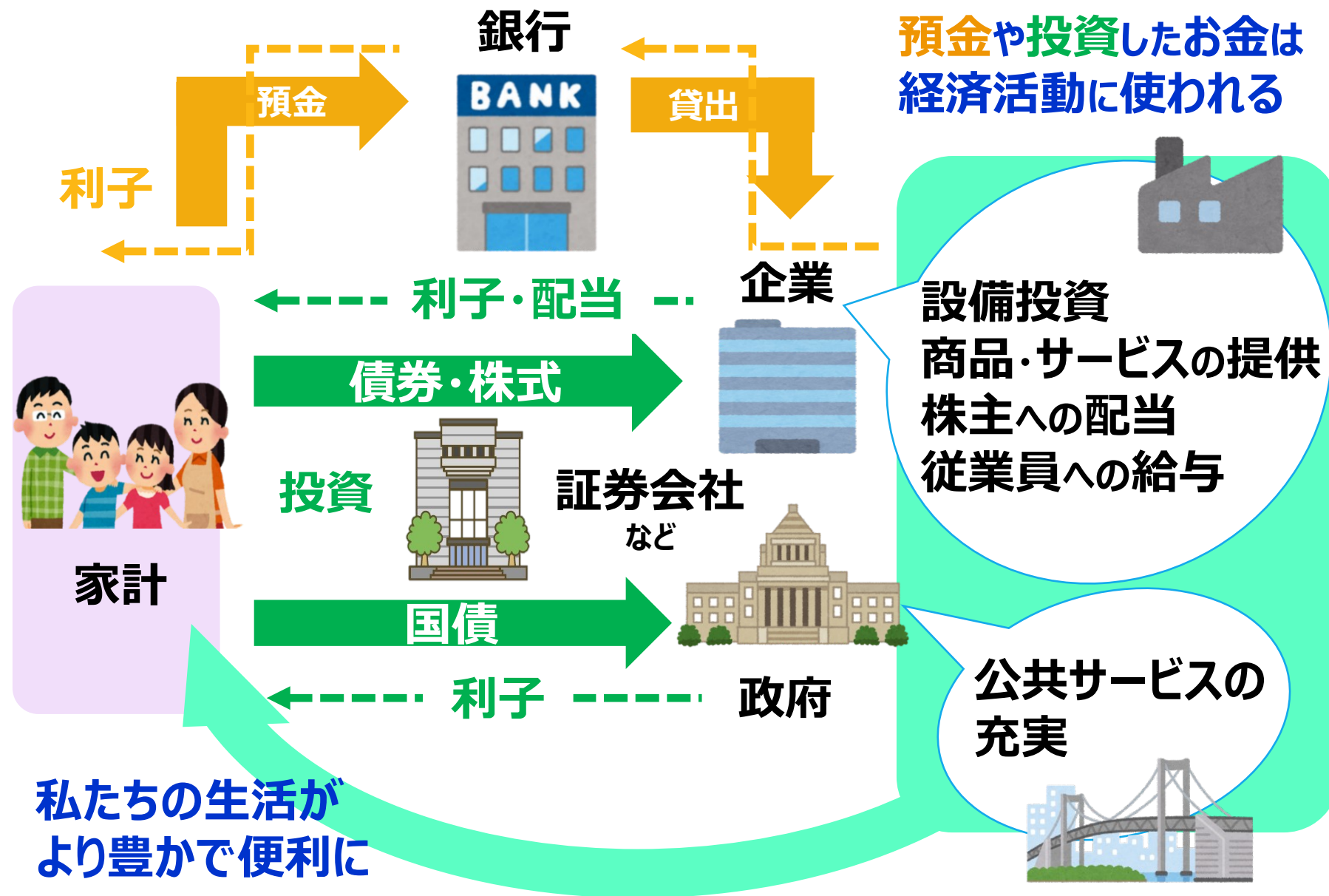
人生を豊かにするお金の知恵

---

# 資産運用 ～始める前に～

日本証券業協会  
東京証券取引所  
投資信託協会

# 経済活動と金融の関係



## 金融資産の運用には、「預貯金」と「投資」がある

### 預貯金



- 貯めることを重視
- 元本保証など確実性を重視
- 運用成果（結果）は商品選択時に決まっている

### 投資



- ふやすことを重視
- 元本保証はない
- 運用成果（結果）は期待できるが、予測できない

### 主な金融商品

普通預金

定期預金

積立定期預金

株 式

債 券  
(国債・地方債など)

投資信託

## 金融商品の特徴は、3つの観点からとらえる

**安全性**

元本(元手)や利子の  
支払いが確実か

**収益性**

期待できる  
収益の大きさか

**流動性**

必要なときにすぐに  
換金できるか

		安全性		収益性		流動性
普通預金	収益性は高くはないが 安全性、流動性は高い	◎		△		◎
国内株式	安全性は低くても大きな 収益性が期待できる	△		◎		○
国内債券	収益性も少しありつつ 安全性も高い	○		○		△

3つとも ◎の金融商品はない

\* 金融機関が破綻した場合 \*

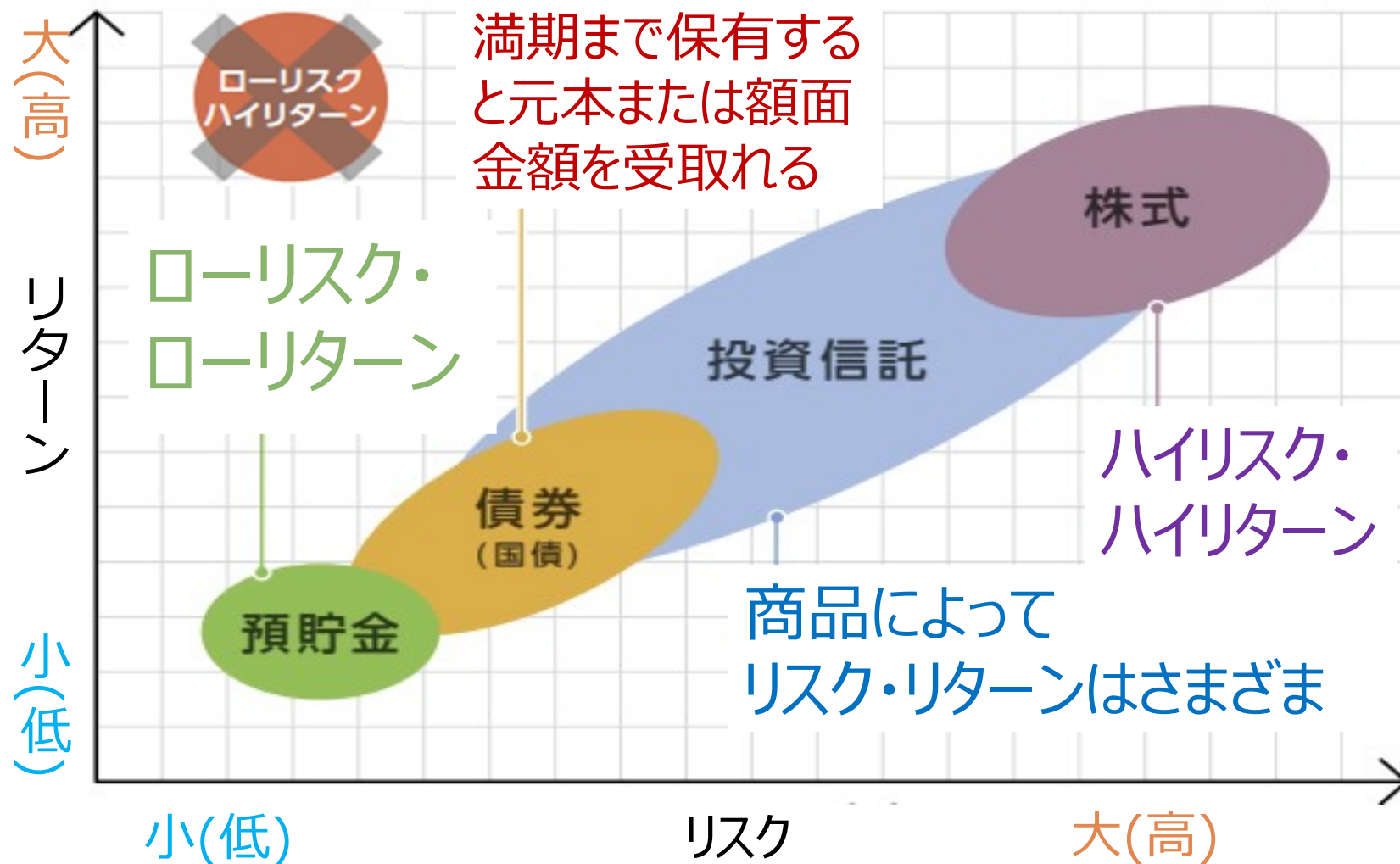
- 普通預金は**預金保険制度**により元本1,000万円（1金融機関ごとに預金者1人当たり）までとその利息等が保護
- 株式・債券は**分別管理**と投資者保護基金による補償の二重の制度によって保護

**「リスク」という言葉の意味は、  
「危ない」という意味だと思いませんか？**

## 金融や投資の世界の「リターン」と「リスク」

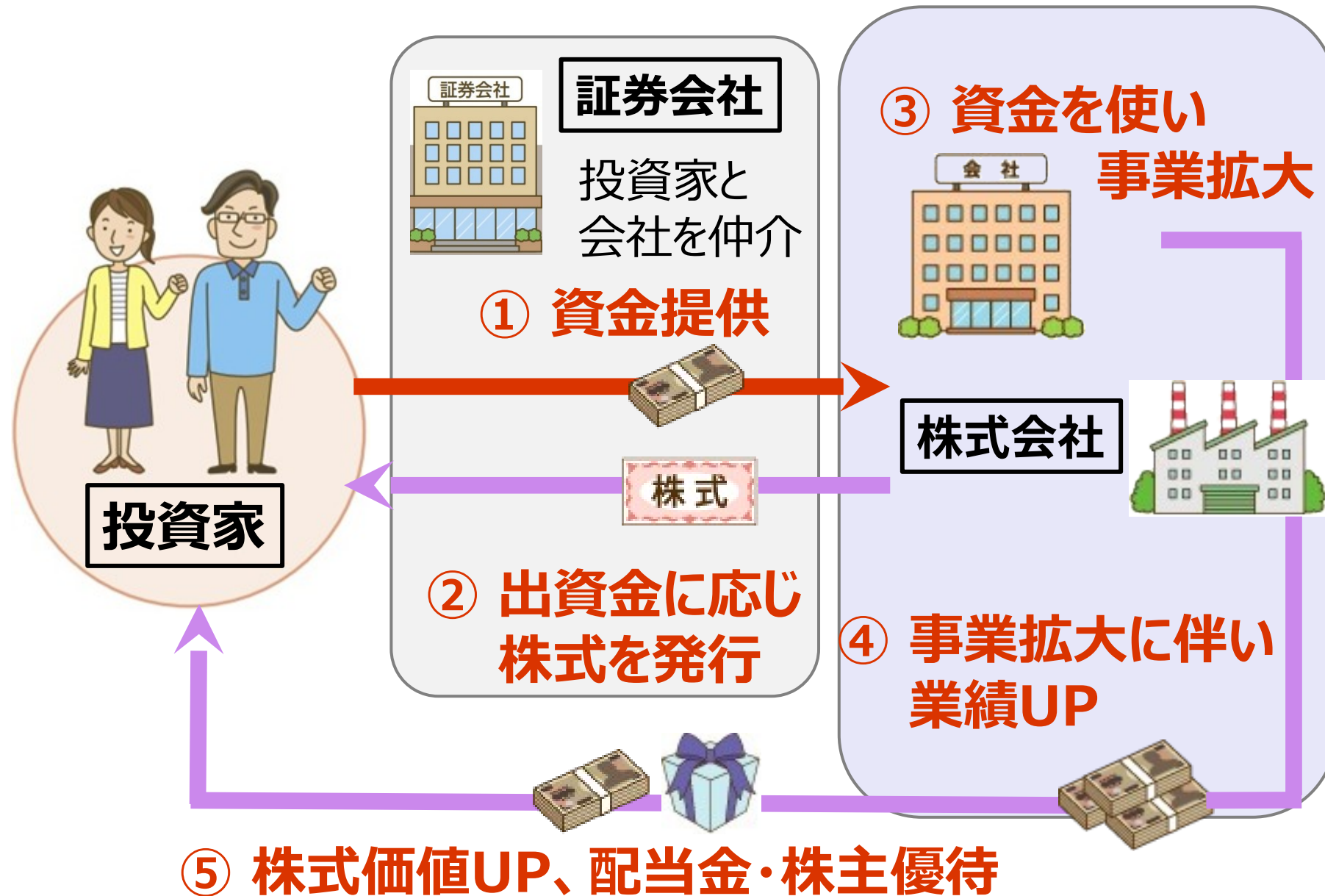
- **金融商品の「リターン」とは、「資産運用を行うことで得られる成果、収益・利益」のこと**
- **金融や投資の世界の「リスク」とは、「リターンの振れ幅」のこと**

## 「ローリスク・ハイリターン」の金融商品はない

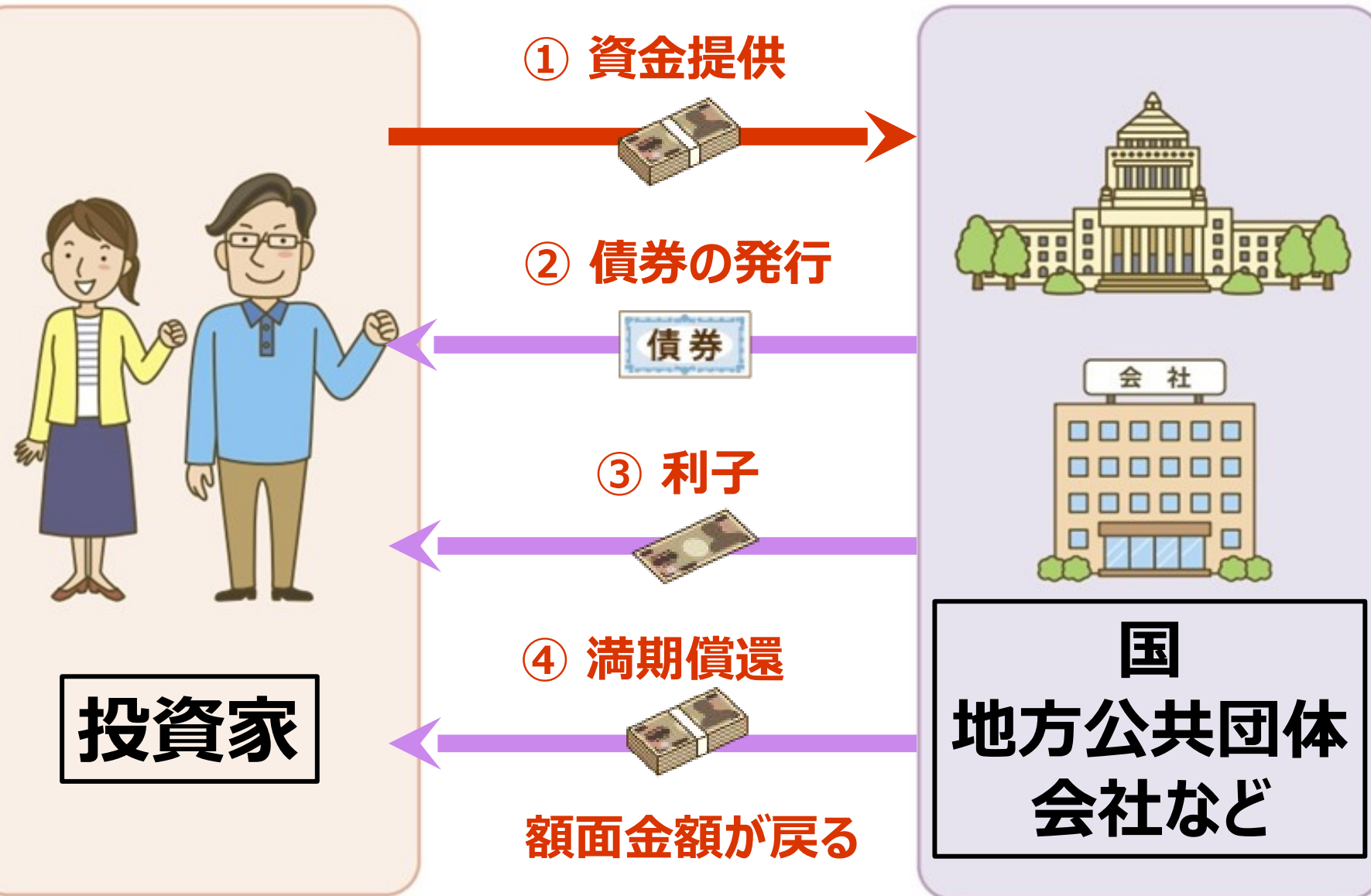


※これは一般的なイメージ図であり、すべての金融商品があてはまるものではありません。





# 債券の仕組み



# 投資信託とは？

## 株式や債券などを組み合わせたパッケージ商品



パッケージ商品なので、  
分散投資でリスクを軽減



専門家に運用はお任せ



少額で投資可能  
積立投資なら、500円や1,000円程度  
からの場合も。

少額投資

専門家が運用  
(運用会社)

様々な  
投資対象に  
分散投資

資金をまとめる

投資信託  
(ファンド)

国内

海外

株式

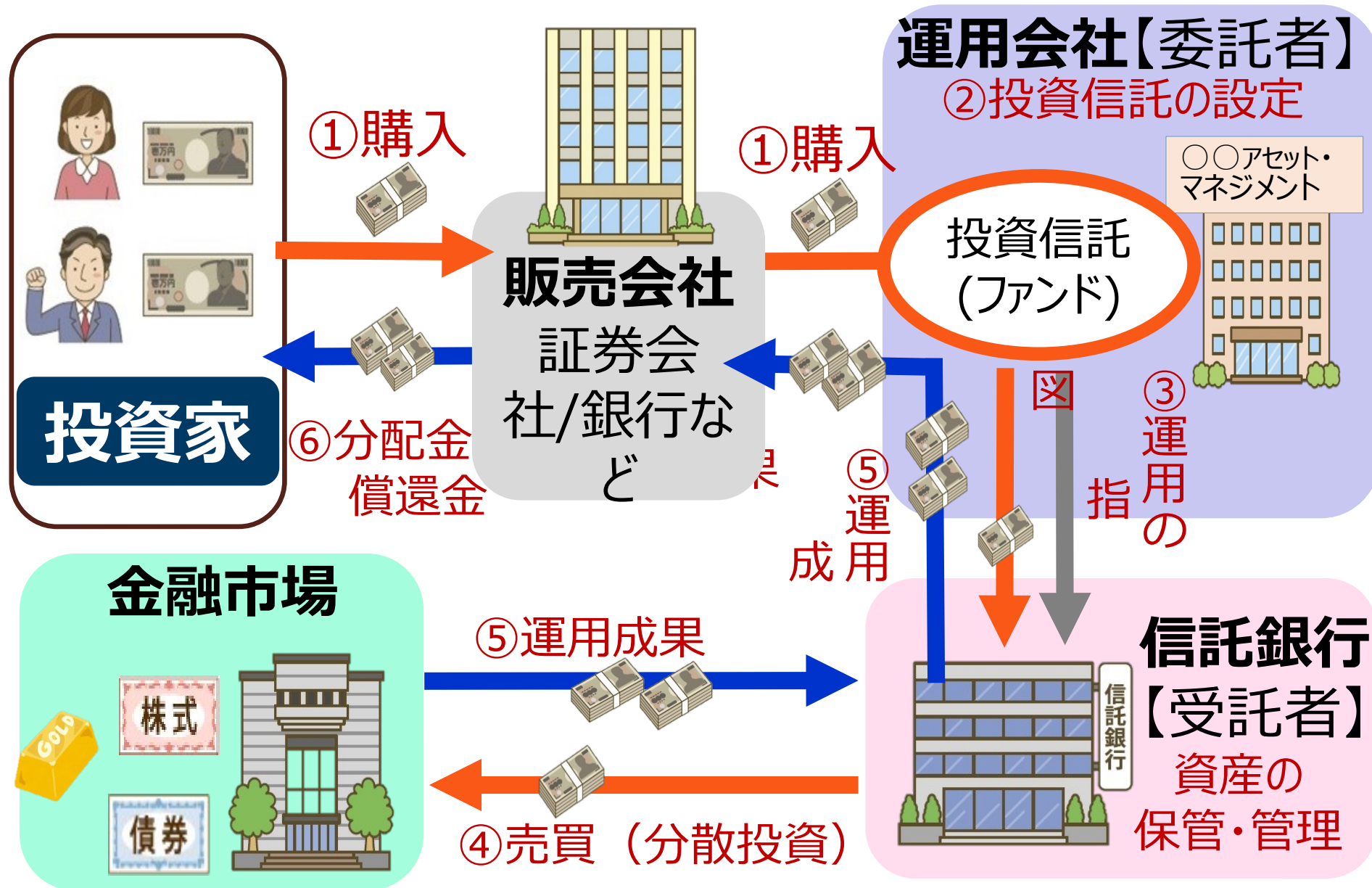
債券

不動産等

投資家

収益の分配

# 投資信託の仕組み



## 投資対象が何かを確認

投資地域▶	国内	海外
▼投資対象		
債券	国内債券	海外債券
株式	国内株式	海外株式
不動産	国内REIT	海外REIT
その他(金など)	コモディティ（商品）など	

バランス型



## 投資信託説明書（交付目論見書）でチェック！

### 重要情報の確認

どのように  
運用？

リスクは？

実績は？

※  
コストは？

※ 主なコスト・・・購入時手数料、運用管理費用（信託報酬）  
信託財産留保額（解約時の費用）、税金など

ポイント

**理解できないものには投資しない**

トータルリターンの通知制度

購入した投信の損益の全体を把握

- ✓ **金融資産の運用の手段には  
貯めることを重視する預貯金と  
ふやすことを重視する投資がある**
- ✓ **金融は経済成長や生活を豊かにするには  
欠かせないもの**
- ✓ **投資のための商品には株式、債券と  
それをパッケージにした投資信託がある**
- ✓ **ローリスク・ハイリターンの金融商品は  
存在しない**